

(2) カリキュラムの特色

これらの取り組みを推進していく組織として、日本臨床宗教師会が2016年2月に設立されました。ソーシャルキャピタルとしての宗教が見直され、社会から臨床宗教師への期待が高まりつつある中、日本臨床宗教師会は現場に立つ者と教育を担う者が協力して、臨床宗教師の教育と実践を支援し、そのあるべき姿を検討する共通基盤の構築を目指しています。

2017年4月に本学大学院文学研究科宗教学仏教学専攻に新設した臨床宗教師養成講座も、東北大学と連携し、本学ならではの教授陣と実習内容を付加することで、より充実したカリキュラムと指導体制を整えています。対象になるのは、曹洞宗・天台宗・真言宗・浄土宗・浄土真宗・キリスト教（カトリック）の宗教宗派の宗教者になります。臨床宗教師としての活動に当たっては、説法をするのではなく、「傾聴」することが大切になります。相手の気持ちや思いに耳を傾け、相手のことをすべて受け止めることが、心に穏やかさや静けさを取り戻すことにつながるはずです。

宗教者としての幅を広げるためにも、また、新しい側面から社会に貢献するという意味においても、臨床宗教師をぜひ目指してほしいと願っています。

